

第 12 号

2014 年  
12 月 10 日



# Safety Mail

● 滋賀県警察本部交通企画課 ●

## 県内の交通事故発生状況

《平成26年11月末現在の人身事故》

### 〈高齢者の事故〉

※高齢者…65歳以上をいう



	件数	死者	傷者
本年	5,825	56	7,553
前年	7,027	67	9,187
増減	-1,202	-11	-1,634

	件数	死者	傷者
本年	1,448	34	935
前年	1,754	26	1,143
増減	-306	+8	-208

交通事故は全体的に減少していますが、高齢者の死者は大幅に増加しています。

## ❄️ 冬道の安全運転ポイント



### 1. 出かける前の準備を確実に!

#### 〈準備〉

- スタッドレスタイヤに交換
- タイヤチェーン・停止表示器材の積載
- 道路交通情報の確認

スタッドレスタイヤでも、数年経ってゴムが硬くなれば、滑り止めの効果が期待できないこともありますので、注意しましょう。

### 3. 凍結路面に注意!

気温が下がる夜間や早朝は、濡れたアスファルト路面に見えても、実は氷が張っている場合があります。

不用意にブレーキを踏むとスリップする危険があります。エンジン・ブレーキを活用するなど慎重な運転を心がけましょう。

橋の上は特に注意!



### 2. 「急」のつく運転はだめ!

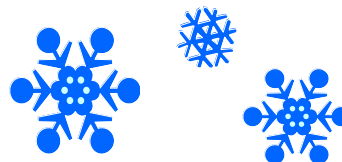
# × 「急」



急激な発進、急加速、急ブレーキ操作はスリップ事故の原因となります。ゆっくり慎重に運転をしましょう。

### 4. 車間距離はいつもより長く!

雪道や凍結路面では、制動距離が長くなるため、車間距離を長めにとりましょう。



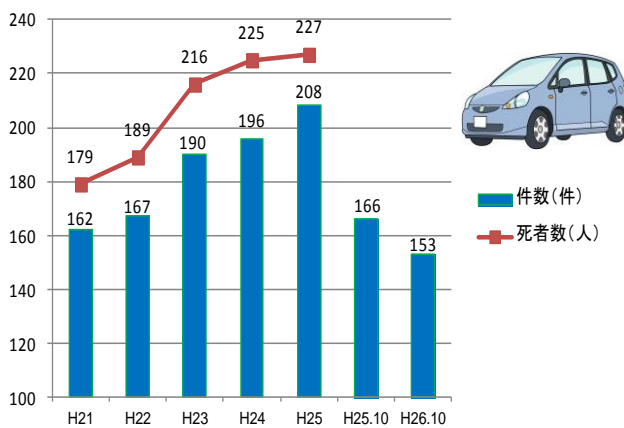
# 高速道路ひと息入れて安全運転!

## ～レッツ ブレイク!～

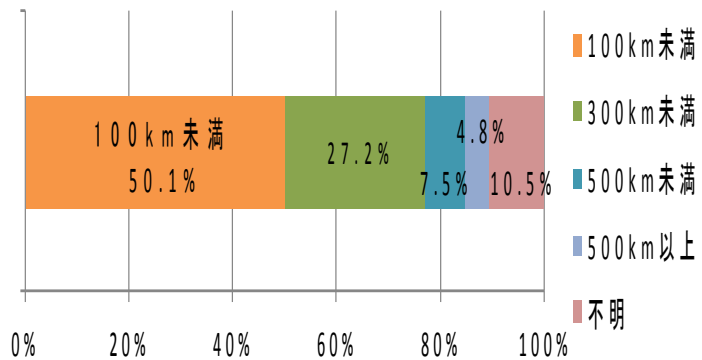
高速道路は走行スピードが速いことから、大事故になる傾向にあります。

過去5年の死亡事故の分析結果は『**高速道路に入り走行距離100km未満、時間にして約1時間以内**』の場所で死亡事故が約5割を占め、このうち**約27%が居眠り運転や考え事などの漫然運転**によるものでした!

★死亡事故件数・死者数の推移



★第一当事者の高速道路走行距離別の死亡事故件数(過去5年累計)



## 高速道路利用の心得!



高速道路に入ったら早目に休息をとり、心身のリフレッシュとともに車両・積載物の安全確認をしましょう!

★ 追越し車線ばかり走行していると速度超過違反や車間距離不保持違反になりやすくなり、目の危険に素早く反応できません。追越しが終了したら、その都度走行車線に戻り**(キープレフトの原則)**、安全速度と車間距離を確認することが大切です。

### 《重大事故に直結する交通違反》

- ・ 速度超過……本線車道上に停止車両があっても止まれません。
- ・ 車間距離不保持…頻繁なブレーキ操作は、後続車に対する危険が増します。
- ・ 携帯電話保持……路肩に止まって通話しても駐停車違反になります。
- ・ シートベルト……全席着用義務があります。

事業所内に掲示するなど、多くの方々にご覧いただけるようご協力ください。

TEL 077-522-1231 (代表) Eメール x0022@police.pref.shiga.jp